

# 子どもと楽しく「道草を食う」ための、親子向けハンディ草花図鑑 『散歩しながら子どもに教えてあげられる 草花図鑑』

2月21日（金）発売

現代の子どもたちは、昔と比べて道草を食わなくなっているそうです。「道草を食う」時間こそ、子どもの五感が育つ貴重な時間でもあります。身近な自然のなかに見つけた発見や穏やかな時間、子ども時代にたっぷり経験させてあげたいものです。

わざわざ遠くに出かけなくても、近所を散歩して道端の草花を観察するだけでも、子どもにとっては貴重な自然体験です。

本書は、親が習い事にお迎えにいった帰りや、休日に余裕のある時間に、親子でのんびり散歩をしながら「道草を食う」ために、草花に詳しくない親でも、子どもに草花について教えてあげられることを目的に企画しました。

「これ、なんて花？」にすぐ答えられるように、探しやすさにこだわりました！

せっかく子どもが道端の草花に興味を示しても、調べるのに時間がかかっては大切なチャンスが台無し！子どもが好奇心を持っている間に、親が調べて説明してあげやすいつくりになりました。写真は、その草花が生育している環境や見分けるときの特徴が写っているわかりやすいものを掲載。

その草花がよく生育している場所を記載しているから、散歩が楽しくなる

「よく似た仲間」「豆知識」「観察ポイント」のコラムも併記



季節ごとに分類しているから探す範囲が絞れる

花びらの色ごとに分類してあるので探しやすい

出会い度を5段階表示  
珍しい草花との出会いが  
うれしくなる

小さな草花図鑑を片手に、親子で観察・草花遊びを！

ひっつき虫

オオオナモミ (P.239)



草花の果実にはカキ状のトゲがあり、衣服にくっつく「ひっつき虫」があります。代表的なのがオオオナモミです。たくさん集めたら、投げ合いっこして遊びましょう。



親子で一緒に草花遊びをしてみれば、ただの雑草としか思えなかった草花が、親子で濃密な時間を過ごした証の草花になってくれるはず。

道端の草花に親子で目を向けた時間は、子どもの豊かな人間性を育み、自然や季節を身近に感じる貴重な経験になるはずですよ。

草相撲

オオバコ (P.112) 編



オオバコの花がついた茎を1本ずつ選んで抜きます。

お互いの茎を絡ませて両端を持ちます。

お互いに引っ張り合って、切れた方が負けです。



書名：『散歩しながら子どもに教えてあげられる 草花図鑑』  
著：亀田龍吉  
定価：本体800円＋税  
仕様：文庫／272ページ  
ISBN：978-4-07-440851-1

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社主婦の友社 広報・プロモーションユニット TEL:03-5280-7577 pr@shufutomo.com